

■ 第3回総会における各委員からの意見及び修正等について

計画 ページ数	委員名	意見等	第3回総会資料の表現	計画での表現
P4 脚注	福田委員	【終活の定義・表現】 ・終活は、元気なうちから準備や情報収集する、という趣旨の表現にしたほうがよい。	「人生の最期を迎えるにあたって、必要なさまざまな準備をすること」	ご指摘を踏まえて修正 ・「人生の最期を念頭において、元気なうちに、必要なさまざまな準備や情報収集をすること。基本構想及び本計画では、自分自身のことに限らず家族のことを含めて、特に葬送関係の準備等をすることを表している。」に修正
P4 本文			市民が葬送のことを考え、行動するという意識を持つことが欠かせません	以下のことから原案どおり ・ビジョンの実現のために必要な大きな方向性を示した表現であること ・脚注の定義に情報収集を記載したこと
P5			市民に「葬送についてより具体的に行動しよう。」という意識を持っていただくための取組を進めます。	以下のことから原案どおり ・方向性を示した表現であること
P18	福田委員	【用語の説明】 ・「埋蔵」は、墓地、埋葬等に関する法律における語句使用と同じであることを明記したほうが良い。	—	ご指摘のとおり修正
P20	高橋委員	【納骨堂の施設数】 ・市内500壇以上の納骨堂の施設数を記載したほうがよい。	—	ご指摘のとおり修正
P28	福田委員	【終活に関する表現】 ・価値観の押し付けにならないような表現にしたほうがよい。	「生前のうちに葬送の準備をすることは葬送に関する不安を解消して人生をより豊かにすることに繋がる」という考え方を市民に浸透させます。	ご指摘を踏まえて修正 ・「～という考え方もあることを市民に広く伝えます。」に修正
P30 P33	上田委員	【意識醸成の取組】 ・葬送に関する窓口を記載したほうが良い。	—	ご指摘を踏まえて修正 ・おくやみ窓口について記載
P31	福田委員	【意識醸成の成果指標】 ・「葬送や終活に関する情報の収集や知識を学んでいる市民の割合」にしたほうがよい。 ・説明書きについても、価値観の押し付けにならないような表現にしたほうがよい。	「葬送に関する終活をしている市民の割合」	ご指摘を踏まえて修正 ・成果指標を「葬送に関する行動をしている市民の割合」に修正 ・説明を「葬送に関する行動（例えば、墓に関する手続きについて調べる、葬送に関する市のイベントに参加するなど）をしている市民の割合を増やしていくことが、個々人が抱えている葬送に関する不安を取り除くことに繋がる。」と修正
P36 P37	桃井委員	【里塚斎場の建替・改修に係る事業方式】 ・検討事項には、事業方式（PFI、公設公営＋一部委託など）も含めることとし、本文（P36）及びスケジュールの矢印（P37）に記載したほうがよい。	—	ご指摘のとおり修正
P61 P62	上田委員	【運営計画の進行管理】 ・協議会の役割については、進行管理の図に記載したほうがよい。 ・協議会の役割は進行管理の図に合わせ3分割としたほうがよい。	・協議会の構成図に役割を併記 ・協議会の役割として「行政へ」と「市民・事業者へ」の2分割	ご指摘を踏まえて修正 ・進行管理の図を修正